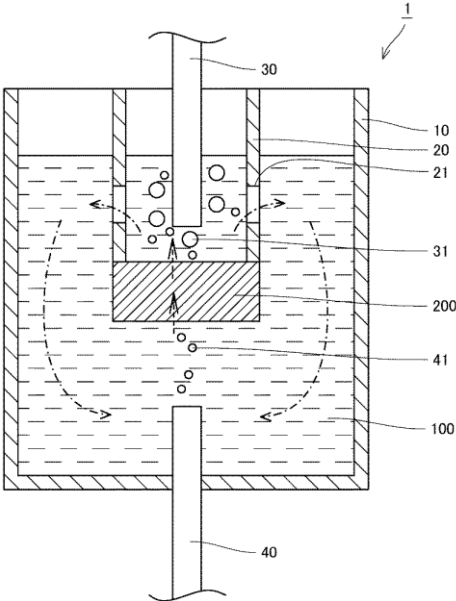


発明の名称	多孔質構造体への気体導入装置と気体導入方法		
出願人/権利人	アイ‘エムセップ株式会社	発明者	伊藤 靖彦、錦織 徳二郎、兵藤 欽一、花田 貴明
出願日	平成29年3月3日	出願番号	2017-040222
公開番号	2018-145470	特許番号	-
法的状態	出願中		

代表図



- 1: 気体導入装置
- 10: 槽
- 20: 保持部
- 21: 開口部
- 30: 第1の気体供給部
- 31: 第1の気体
- 40: 第2の気体供給部
- 41: 第2の気体
- 100: 液体、
- 200: 構造体

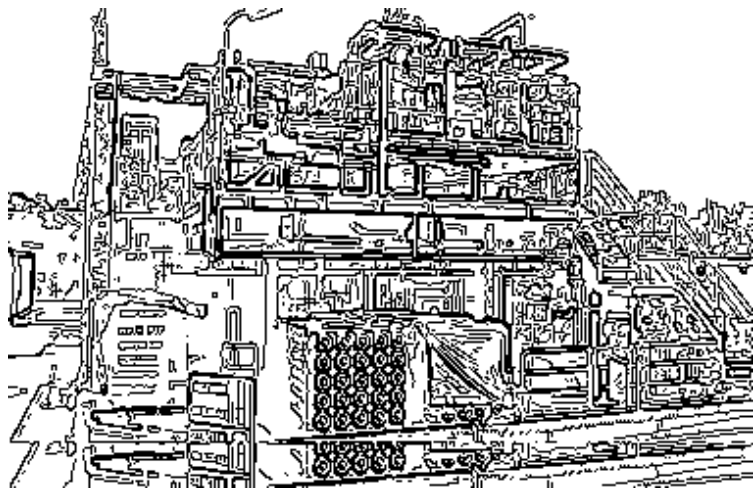
発明の概要

気体の利用率を向上させつつ気体を導入することが可能な気体導入装置と気体導入方法

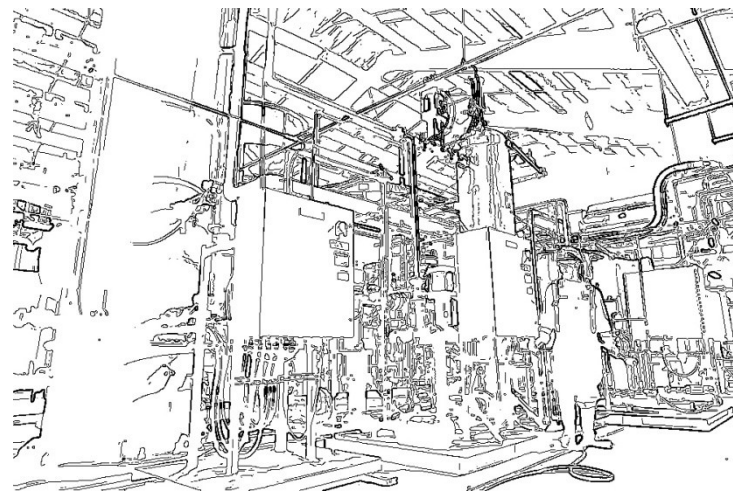
特徴

従来技術では気泡は多孔質構造体の側面の孔を通して多孔質構造体から外部へ漏れだし、気体の利用率の低下が生じる。

本発明の気体導入装置では、気体供給部が構造体の下端に接触している場合は、気泡は液体とともに、構造体の内部を通して、上方へ輸送されるので、構造体の側面から気泡が漏れ出ることが抑制される。構造体の上方へ輸送された液体は、開口部を通して保持部の外に流れ出る。液体の連続的な循環が可能になるため多孔質の構造体の下方から供給された第2の気体が構造体を迂回することを防ぎ、気体の利用率を向上させることができる。



アンモニア合成装置



炭素固定装置

応用の可能性

- ・アンモニア合成装置
- ・炭素固定装置

など

本技術の活用が見込める企業の一例

- | | |
|-------------|--------------|
| ・日揮株式会社 | ・株式会社神戸製鋼所 |
| ・愛知電機株式会社 | ・株式会社島津製作所 |
| ・三菱ケミカル株式会社 | ・日本CCS調査株式会社 |
| ・三菱重工業株式会社 | ・株式会社東芝 |
| ・高圧システム株式会社 | など |

アイ‘エムセップ株式会社の本発明に関する最新動向

・同社ホームページには本件特許に関連する情報の掲載は見られないが、同社が出願した特許については一覧(<http://www.imsep.co.jp/patent.html>)が掲載されている。本件特許に関連する製品についての記載は見受けられない。